

教科	国語		科目	現代文 B	単位数	3
学年	3年		類型	地域ビジネス科・商業科		
教科書(出版社)	新編現代文 B (東京書籍)					
副教材(出版社)	新編現代文 B 学習課題ノート (東京書籍)					
授業の概要	読むことを中心に教材の読解を深め、総合的な言語能力の育成を目指す。グループ学習などをおして多様な思考を展開し、主体的な考察を行う。また、自身の思考を表現する機会を設けることで、より確かな学習の経験とする。					
授業の目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。様々なジャンルの文章を的確に理解する能力を養成し、基礎的・基本的な知識・技能を習得し、豊かな感受性を養う。					
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)			学習目標		
	1 学期	1 評論 1 ・最初のペンギン 2 小説 1 ・山月記 3 評論 1 ・豊かさと生物多様性	<ul style="list-style-type: none"> 論理展開に注意して読み、扱われている問題を正確に捉える。 小説を読むことをとおして、自分とは何か、人間とは何かという問題について考えを深める。 論の展開に注意して読み、生物多様性の重要性と課題について理解を深める。 			
	2 学期	1 随想 ・カフェの開店準備 2 評論 4 ・本物のおカネの作り方 3 小説 2 ・鞆 4 評論 2 ・もう一つの知性	<ul style="list-style-type: none"> 体験に基づく随想を読んで、筆者の思いを表現に注意して捉える。 現代社会と人間のかかわりについて理解を深め、自らの考えをまとめ、的確に表現する力を養う。 寓意に注意しながら小説を読み、「現代」という時代について考えを深める。 筆者の考えを手掛かりに、現代社会を生きていくうえでどのような態度が必要なのか考える。 			
	3 学期	1 小説 3 葉桜と魔笛	<ul style="list-style-type: none"> 時代背景や虚構性に注意して小説を読み、そこに描かれた世界を的確に捉える。 			
観点別 評価	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解	
	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重して、その向上を図ろうとしているか。	目的や場に応じて効果的に話したり、的確に聞き取ったりして、自分の考えをまとめ、発展させているか。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させているか。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させているか。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けているか。	
備考	5つの観点に基づき、各学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。					